being mostly uniseriate with a single sterile terminal cell.

References

Hollenberg, G. J. 1969. An account of the Ralfsiaceae (Phaeophyta) of California. J. Phycol. 5: 290-301. Tanaka, J. and M. Chihara 1980. Taxonomic study of the Japanese crustose brown algae (2) *Ralfsia* (Ralfsiaceae, Ralfsiales) (Part 1). Journ. Jap. Bot., **55**: 225-236. Tokida, J. 1954. The marine algae of southern Saghalien. Mem. Fac. Fish. Hokkaido Univ. 2: 1-264.

* * * *

本報告ではイソガワラ属 (*Ralfsia*) の2種を新種として記載した。

Ralfsia endopluroides J. Tanaka et Chihara sp. nov. は直径約1cmのうすい体 (150-300 μm) で，暗褐色の斑紋として岩や石の上に生育する。単子嚢に柄細胞がないこと及び複室生殖器官の形態がこの新種の種小名が由来した *Endoplura* Hollenberg 属の性質に似ており，かつ複室生殖糸 (plurilocular reproductive filament) の上部に縦に3個並んだ不稔細胞列があることで近似の種と区別できる。宮城県気仙沼産。

Ralfsia pedicellata J. Tanaka et Chihara sp. nov. は直径1～2cmのかなりうすい体 (100～120 μm) で，明るい褐色または褐色を呈する。カリフォルニア産の *Ralfsia confusa* Hollenberg に似るが，次の形質の組合せにより識別できる。1) 単子嚢は1細胞からなる柄をもつ，2) 複室生殖糸の上部に縦に2個並んだ不稔細胞列をもつ。奄美大島佐仁産。

□ Dibben, Martyn J.: **The chemosystematics of the lichen genus *Pertusaria* in North America North of Mexico.** 162 pp. 1980. Milwaukee Public Museum. 固着地衣の研究が遅れているのはアメリカでも日本と同様である。本書は北米産の *Pertusaria* (トリハダゴケ属) の地衣66種についての，著者の学位論文をもとにしたモノグラフである。日本産の *Pertusaria* については生塩，四分一両君の研究があって一歩先んじてはいるが，これらの見直しのためにも，本書は大いに役立つものと期待される。しかし，形態や地衣成分を特徴とする種の扱い方は，どちらかと言えば保守的であるし，また著者が採用した2亜属 (Subgen. *Pertusaria* と Subgen. *Pionospora*) に分類するやり方も，従来の考えを出るものではない。こうした点は兎も角として，北米産の66種について，形態，分布，化学成分等を丹念に調べてまとめた功績は大きく，これからの固着地衣の研究のための指針となるであろう。 (黒川 遖)